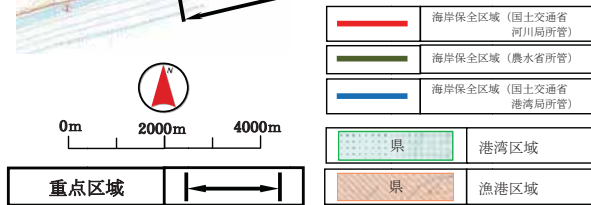


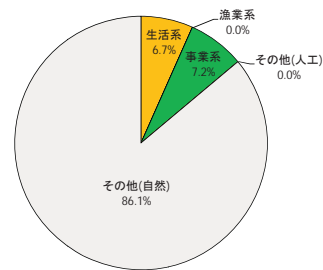
重点区域	①高豊・二川地区：豊橋市
対象区域	豊橋市内太平洋側海岸
海岸管理者	県（河川課）、豊橋市



L=13,500m



写真：アカミカメの産卵地である表浜海岸の
自然観察会の様子
(豊橋市ホームページより)



H26年 海岸漂着物種類別重量の割合
(高豊・二川地区)

改定内容
・重点区域の追加

(新)

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	高豊漁港海岸高豊地区	T	
	田原・豊橋海岸大草・東赤沢地区	3	
②平成26年度アンケート調査 (県環境部)	高豊漁港海岸		8
	二川漁港海岸		8
③平成26年度海岸漂着物内容調査 (県環境部)	豊橋海岸高塚・寺沢地区海岸	1	4
④平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	高豊・二川地区全域	降雨前：T 降雨後：1	降雨前：5 降雨後：5
これまでの海岸漂着物状況	台風通過後に、流木・灌木が漂着するとともに、海岸には外からゴミが持ち込まれ、その対応として海岸清掃を行っているケースが多い。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)
豊橋市と住民ボランティア等民間団体との共同実施による単独実施	地元住民、海岸利用者、ボランティア等
豊橋市が補助金等を活用して実施	豊橋市
住民ボランティア等民間団体による単独実施	高豊校区豊橋表浜海岸清掃協力会
地域の住民の方が中心になって清掃実施団体を設置し、委託事業として実施	小沢校区豊橋表浜海岸清掃協力会 細谷校区豊橋表浜海岸清掃協力会

○地域特性

自然的条件	三河湾国定公園に指定された地域である。 また、東西、弓状に広がる豊かな砂浜と海食崖が連なる景観は、日本でも珍しいものとなっている。 なお、アカウミガメの産卵が確認されている海岸である。
社会的条件	マリンスポーツ場、バーベキュー場、釣り場としてレクリエーション利用がされているほか、環境学習の場としても利用されている。 また、漁港として利用されている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

改定内容
・重点区域の追加

(新)

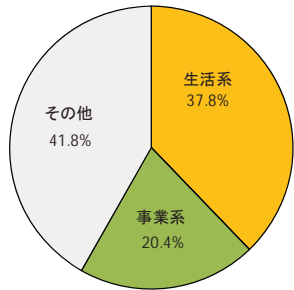
重点区域	②吉良地区：西尾市
対象区域	蛭子岬～幡豆町境
海岸管理者	県（河川課）、西尾市

重点区域

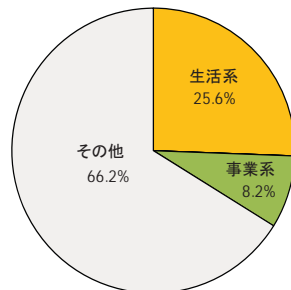
0m 1000m 2000m

L=1,500m

- 県 港湾区域
- 市町村 漁港区域
- 海岸保全区域（国土交通省 河川局所管）
- 海岸保全区域（農水省所管）
- 海岸保全区域（国土交通省 港湾局所管）



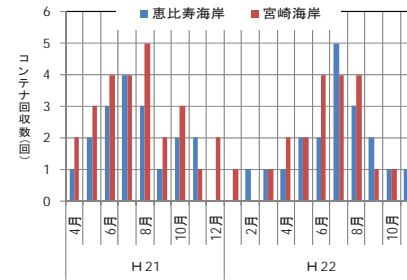
H22年海岸漂着物種類別重量の割合（恵比寿海岸）



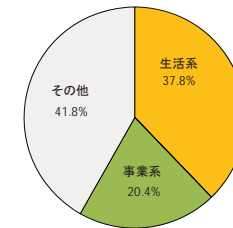
H22年海岸漂着物種類別重量の割合（宮崎海岸）

(旧)

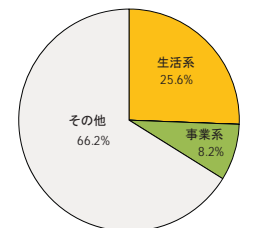
重点区域候補	⑥吉良地区：吉良町
対象海岸	宮崎漁港海岸宮崎地区海岸 吉良・幡豆海岸宮崎・鳥羽地区海岸
対象区域	吉良町・蛭子岬～吉良町・幡豆町境
海岸管理者	県（河川課）、吉良町



H21～22年 漂着物用コンテナの回収回数 恵比寿海岸・宮崎海岸



H22年漂着物種類別重量の割合（恵比寿海岸）



H22年漂着物種類別重量の割合（宮崎海岸）

改定内容
・修文

(新)

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	宮崎海岸(1)	T	
	宮崎海岸(2)	T	
②平成21年度アンケート調査 (県環境部)	恵比寿海岸		6
	宮崎海岸		8
③平成22年度現地調査 (県環境部)	恵比寿海岸	T	T
	宮崎海岸	T	1
④平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	吉良地区全域	降雨前：T 降雨後：T	降雨前：1 降雨後：T
これまでの海岸漂着物状況	大雨時に流木・灌木を中心に漂着する。特に夏季に海岸漂着物が多く発生しやすい。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)
西尾市が補助金等を活用して実施	西尾市
住民ボランティア等民間団体による単独実施	一般

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園及び県指定鳥獣保護区に指定された地域である。
社会的条件	潮干狩り場、海水浴場としてレクリエーション利用がされている。 また、漁港として利用されている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

(旧)

地域概要

○漂着ごみの集積状況

調査名	地点名	ごみランク	
①平成18年度調査 (国土交通省) 「H18調査」	宮崎海岸	T	
②平成21年度アンケート調査 (県環境部) 「H21調査」	恵比寿海岸	6	
	宮崎海岸	8	
③平成22年度現地調査 (県環境部) 「H22調査」	恵比寿海岸	T	T
	宮崎海岸	T	1
これまでの漂着ごみ状況	大雨時に流木を中心に漂着する。特に夏季に漂着ごみが多く発生しやすい。		

平成22年度調査結果：流木・灌木以外のごみランク(左側)と流木灌木を含んだごみランク(右側)も併記した。

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)	実施時期
吉良町による単 独実施	地元住民	年間通して定期的に実施
	施設管理協会	
住民ボランティ ア等民間団体に よる単独実施	一般	平成21.7
住民ボランティ ア等民間団体に よる単独実施	吉田漁業協同組合	—
	西三河漁業協同組合	—

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園に含まれ、県指定鳥獣保護区である。
社会的条件	春先から初夏にかけては潮干狩りとして、夏季には海水浴場としてレクリエーション利用がされ、多くの観光客が訪れている。

○重点区域の漂着物対策推進の目標

重点区域の漂着物対策推進の目標
三河湾の奥部に位置する本地域は、国立公園指定地域であり、海水浴などレクリエーション利用及び、漁港としての利用に支障のない海岸を目指す。

改定内容
・調査結果の更新に伴う修正
・修文

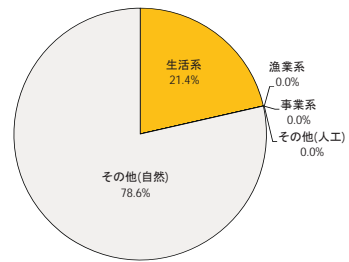
(新)

(旧)

重点区域	③寺部地区：西尾市
対象区域	寺部海水浴場
海岸管理者	県（河川課）



写真：寺部海水浴場
(西尾市観光協会ホームページより)



H26年 海岸漂着物種類別重量の割合
(寺部地区)

改定内容
・重点区域の追加

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	寺部海岸(1)	0	
	寺部海岸(2)	0	
②平成26年度海岸漂着物内容調査 (県環境部)	寺部海岸	T	T
③平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	寺部地区全域	降雨前：T 降雨後：T	降雨前：0 降雨後：0
これまでの海岸漂着物状況	海岸漂着物が多々発生している。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)
住民ボランティア等民間団体による単独実施	漁業者
西尾市が補助金等を活用して実施	西尾市

○地域特性

自然的条件	三河湾国定公園及び県指定鳥獣保護区に指定された地域である。
社会的条件	海水浴場としてレクリエーション利用がされている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

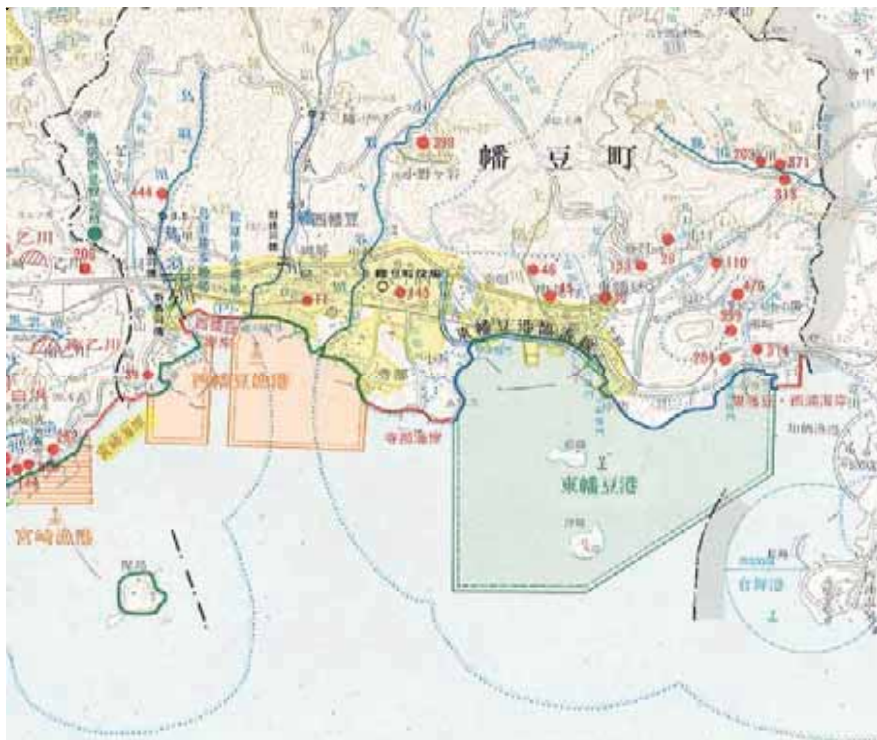
重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

改定内容
・重点区域の追加

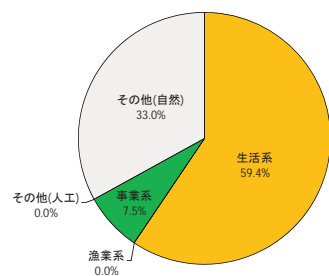
(新)

(旧)

重点区域	④東幡豆地区：西尾市
対象区域	東幡豆海岸
海岸管理者	県（港湾課）



写真：東幡豆海岸・前島 潮干狩り
(西尾市観光協会ホームページより)



H26年 海岸漂着物種類別重量の割合
(東幡豆地区)

改定内容
・重点区域の追加

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木 を除く	流木・灌木 を含む
①平成26年度海岸漂着物内容調査（県環境部）	東幡豆港	T	T
②平成26年度海岸漂着物量調査（県環境部）	東幡豆地区全域	降雨前：0 降雨後：0	降雨前：0 降雨後：T
これまでの海岸漂着物状況	海岸漂着物が多々発生しており、また、海岸利用者により浜辺へゴミがポイ捨てされる。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）
住民ボランティア等民間団体による単独実施	漁業者
西尾市が補助金等を活用して実施	西尾市

○地域特性

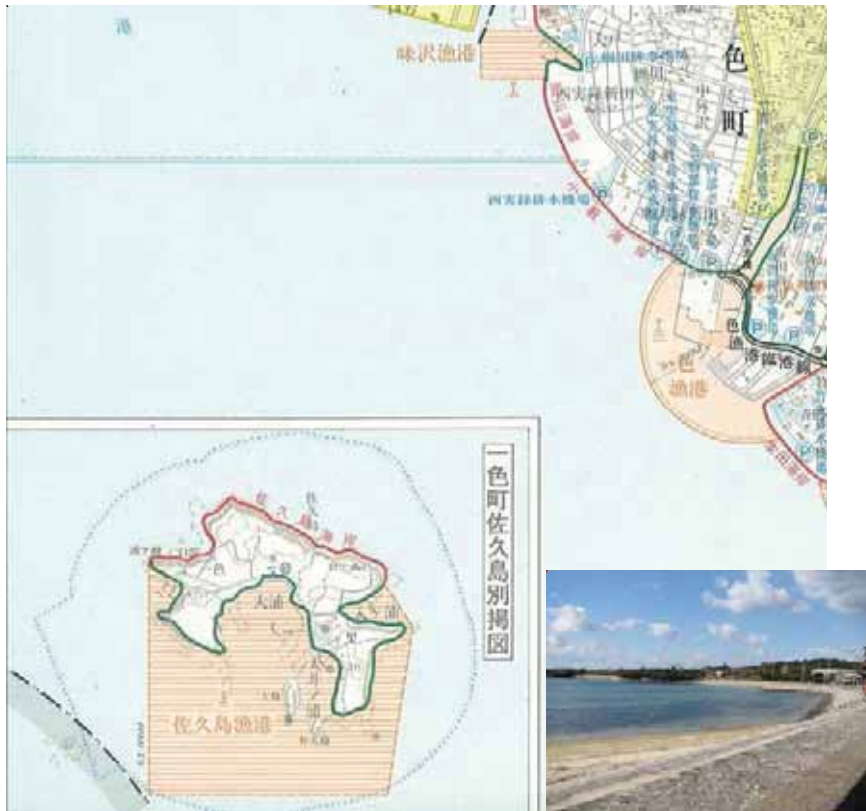
自然的条件	三河湾国定公園及び県指定鳥獣保護区に指定された地域である。
社会的条件	潮干狩り場や釣り場としてレクリエーション利用がされている。 また、潮の満ち引きによって前島に歩いて渡ることができるトンボロ干潟を有し、多くの観光客が訪れている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

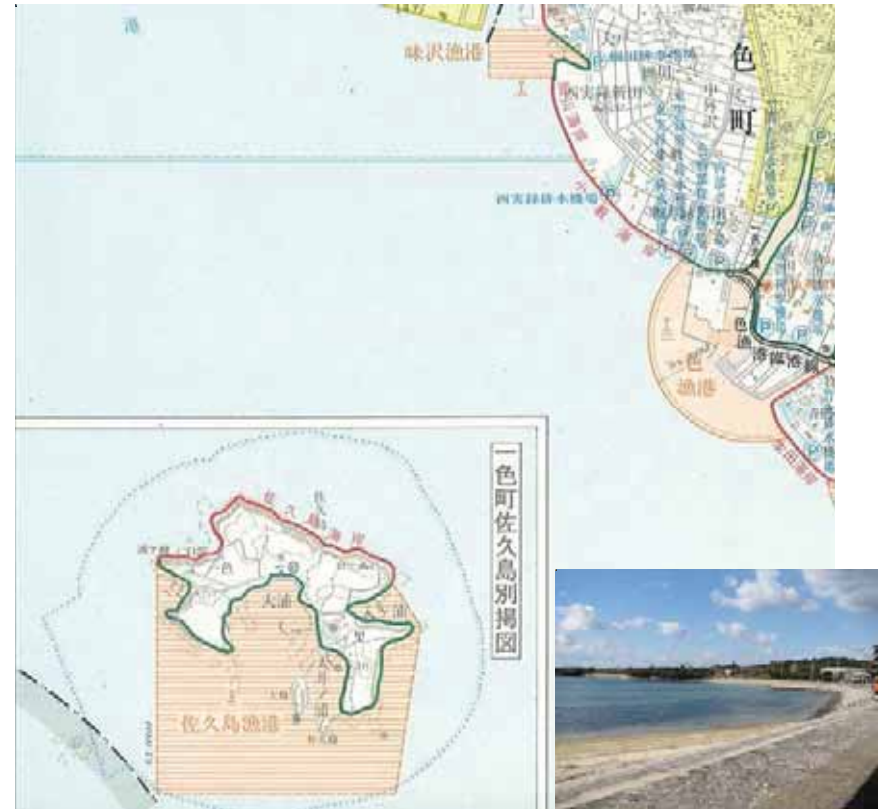
(新)

重点区域	⑤佐久島地区：西尾市
対象区域	佐久島内海岸全域
海岸管理者	県（河川課）、西尾市



(旧)

重点区域候補	⑤佐久島地区：一色町
対象海岸	佐久島漁港海岸 佐久島地区海岸 一色海岸佐久島地区海岸
対象区域	一色町の佐久島外周全域
海岸管理者	県（河川課）、一色町



地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク※v	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①平成26年度アンケート調査 (県環境部)	白浜海岸	/	6
②平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	佐久島地区全域		降雨前：T 降雨後：T
これまでの海岸漂着物状況	海岸清掃を行ったが、繰り返し漂着することで、現在も海岸漂着物が多い状態が続いている。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）
西尾市と住民ボランティア等民間団体との共同実施	西三河漁業協同組合組合員
住民ボランティア等民間団体による単独実施	島を美しくつくる会
体験学習の一環として実施	佐久島に体験学習で訪れる中学生等

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園及び県指定鳥獣保護区に指定された地域である。
社会的条件	海水浴場や釣り場としてレクリエーション利用がされている。 また、大提灯祭りとともに、旧家を修築した文化交流施設である弁天サロン等佐久島の観光に年間をとおして、多くの観光客が訪れている。 なお、漁港として利用されている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

地域概要

○漂着ごみの集積状況

調査名	地点名	ごみランク		
①平成18年度調査 (国土交通省) 「H18調査」	—	—		
②平成21年度アンケート調査 (県環境部) 「H21調査」	—	—		
③平成22年度現地調査 (県環境部) 「H22調査」	—	—	—	
これまでの漂着ごみ状況	平成22年 回収された漂着ごみ量			
	5月27日	6月10日	10月3日	
	50袋 (450袋)	30袋 (450袋)	45袋 (450袋)	

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）	実施時期
一色町とボランティア等民間団体との共同実施	西三河漁業協同組合員	6～10月のうち6日間
住民ボランティア等民間団体による単独実施	島を美しくつくる会	定期的実施

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園に含まれ、県指定鳥獣保護区である。
社会的条件	夏季には海水浴場や釣りなどでレクリエーション利用がされている。一色町の大提灯祭りとともに、旧家を修築した文化交流施設である弁天サロン等佐久島の観光に年間をとおして、多くの観光客が訪れている。また、漁業も盛んな地域である。

○重点区域の漂着物対策推進の目標

重点区域の漂着物対策推進の目標
三河湾内の離島に位置する本地域は、海水浴を始めとする様々なレクリエーション利用及び、海岸の特殊景観である海蝕崖を有する国立公園指定地域として支障のない海岸を目指す。

改定内容

- ・調査結果の更新に伴う修正
- ・修文

(新)

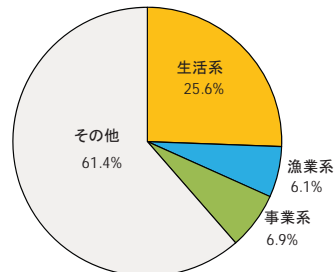
(旧)

重点区域	⑥形原地区：蒲郡市
対象区域	袋川河口～北浜公園南側
海岸管理者	県（河川課、港湾課）

重点区域候補	⑦形原地区：蒲郡市
対象海岸	蒲郡海岸春日浦地区海岸 形原漁港海岸形原地区海岸
対象区域	蒲郡市・袋川河口～北浜公園南側
海岸管理者	県（河川課、港湾課）



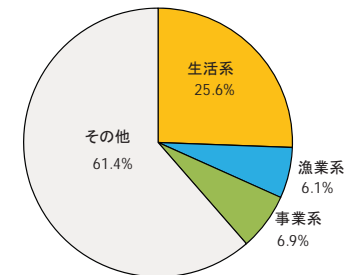
写真：大量に漂着した流木・灌木（春日浦海岸）



H22年 海岸漂着物種類別重量の割合（春日浦海岸）



写真：大量に漂着した流木 春日浦海岸



H22年 漂着物種類別重量の割合（春日浦海岸）

改定内容
・修文

(新)

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	蒲郡海岸形原地区	T	
②平成22年度現地調査 (県環境部)	蒲郡海岸形原地区	2	3
③平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	形原地区全域	降雨前：T 降雨後：T	降雨前：4 降雨後：3
これまでの海岸漂着物状況	大雨時に流木・灌木を中心に漂着する。特に夏季に海岸漂着物が多く発生しやすい。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)
蒲郡市が補助金等を活用して実施	蒲郡市
蒲郡市と住民ボランティア等民間団体との共同実施	住民、自治会等、市関連団体、企業、市職員

○地域特性

自然的条件	県指定鳥獣保護区に指定された地域である。
社会的条件	潮干狩り場としてレクリエーション利用がされている。 また、近接して温泉地があり、多くの観光客が訪れている。 なお、漁港としても利用されている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

(旧)

地域概要

○漂着ごみの集積状況

調査名	地点名	ごみランク	
①平成18年度調査 (国土交通省) 「H18調査」	蒲郡海岸形原地区	T	
②平成21年度アンケート調査 (県環境部) 「H21調査」	—	—	
③平成22年度現地調査 (県環境部) 「H22調査」	蒲郡海岸形原地区	2	3
これまでの漂着ごみ状況	大雨時に流木を中心に漂着する。特に夏季に漂着ごみが多く発生しやすい。		

平成22年度調査結果：流木・灌木以外のごみランク(左側)と流木灌木を含んだごみランク(右側)も併記した。

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)	実施時期
行政単独実施	蒲郡市	平成21年、平成22年6月～11月末
蒲郡市とボランティア等民間団体との共同実施	蒲郡市ごみゼロ運動推進協議会	毎年5月末、9月末

○地域特性

自然的条件	県指定鳥獣保護区にある。
社会的条件	春先から初夏にかけては潮干狩りとして、レクリエーション利用がされている。また、近接して温泉地があり、多くの観光客が訪れている。なお、漁業も盛んな地域である。

○重点区域の漂着物対策推進の目標

重点区域の漂着物対策推進の目標
三河湾の奥部に位置する本地域は、鳥獣保護区であり、潮干狩りや保養地等のレクリエーション利用に支障のない海岸を目指す。

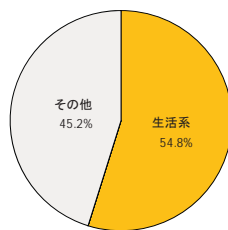
改定内容
 ・調査結果の更新に伴う修正
 ・修文

(新)

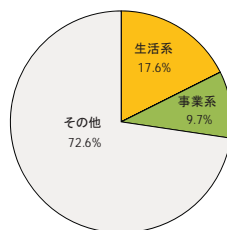
重点区域	⑦蒲郡地区：蒲郡市
対象区域	竹島園地～海陽ヨットハーバー西側
海岸管理者	県（河川課、港湾課）



写真：大量に発生したアオサの回収作業を行う様子（三谷海岸）



H22年 海岸漂着物種類別重量の割合（竹島海岸）



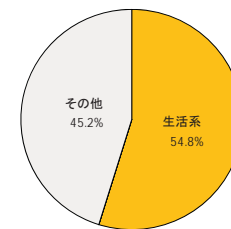
H22年 海岸漂着物種類別重量の割合（三谷海岸）

(旧)

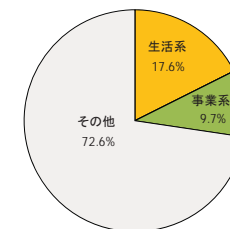
重点区域候補	⑧蒲郡地区：蒲郡市
対象海岸	三河港海岸蒲郡地区海岸、三谷漁港海岸三谷地区海岸 三河港海岸三谷地区海岸、蒲郡海岸三谷地区海岸
対象区域	竹島園地～海陽ヨットハーバー西側
海岸管理者	県（河川課、港湾課）



写真：大量に発生したアオサの回収作業を行う様子 三谷海岸



H22年 漂着物種類別重量の割合（竹島海岸）



H22年 漂着物種類別重量の割合（三谷海岸）

改定内容
・修文

(新)

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	三河港海岸蒲郡地区	0	
	蒲郡海岸三谷地区	T	
②平成21年度アンケート調査 (県環境部) 「H21調査」	三河港海岸蒲郡地区		6
	蒲郡海岸三谷地区		6
③平成22年度現地調査 (県環境部) 「H22調査」	三河港海岸蒲郡地区	T	T
	蒲郡海岸三谷地区	T	2
④平成26年度現地調査 (県環境部)	蒲郡地区全域	降雨前：T 降雨後：T	降雨前：1 降雨後：2
これまでの海岸漂着物状況	大雨時に流木・灌木を中心に漂着する。特に、夏季に海岸漂着物が多く発生しやすい。また、アオサに関しても海岸漂着物回収と混在し、課題となっている。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)
蒲郡市が補助金等を活用して実施	蒲郡市
蒲郡市と住民ボランティア等民間団体との共同実施	住民、自治会等、市関連団体、企業、市職員

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園及び県指定鳥獣保護区に指定された地域であり、竹島は特別保護地区としても指定されている。 また、竹島には国の天然記念物として指定されている八百富神社社叢がある。
社会的条件	潮干狩り場としてレクリエーション利用がされている。 また、竹島、水族館、温泉地、マリナーに近接していることから観光地としても利用されているほか、蒲郡市無形民俗文化財に指定されている三谷祭も行われている。 なお、漁港としても利用されている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

(旧)

地域概要

○漂着ごみの集積状況

調査名	地点名	ごみランク	
①平成18年度調査 (国土交通省) 「H18調査」	三河港海岸蒲郡地区	0	
	蒲郡海岸三谷地区	T	
②平成21年度アンケート調査 (県環境部) 「H21調査」	三河港海岸蒲郡地区	6	
	蒲郡海岸三谷地区	6	
③平成22年度現地調査 (県環境部) 「H22調査」	三河港海岸蒲郡地区	T	T
	蒲郡海岸三谷地区	T	2
これまでの漂着ごみ状況	大雨時に灌木等を中心に漂着する。特に、夏季に漂着ごみが多く発生しやすい。また、アオサに関しても漂着ごみ回収と混在し、課題となっている。		

平成22年度調査結果：流木・灌木以外のごみランク(左側)と流木灌木を含んだごみランク(右側)も併記した。

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)	実施時期
蒲郡市と住民ボランティア等民間団体との共同実施	蒲郡市、 浜町クリーンアップ委員会、 ライオンズクラブ等	H17.5.29、9.3 H18.8.28、9.24 H19.5.27、9.30 H21.5.24、9.27
住民ボランティア等民間団体による単独実施	三谷漁業協同組合	—

○地域特性

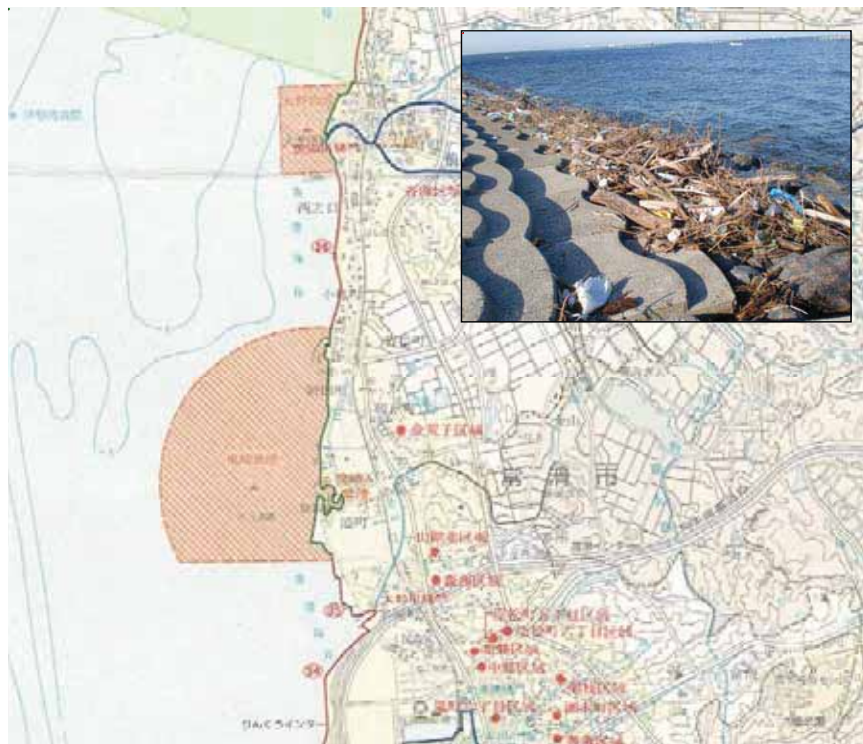
自然的条件	三河湾国立公園に含まれ、竹島は特別保護地区に指定されている。また、竹島は天然記念物に国指定されている八百富神社社叢がある。
社会的条件	竹島周辺は、潮干狩りとして多くの人々に利用されている。また、温泉地及びマリナーも近接しており、レクリエーション利用が盛んな地域である。漁業も盛んな地域である。

○重点区域の漂着物対策推進の目標

重点区域の漂着物対策推進の目標
三河湾の奥部に位置する本地域は、国立公園指定地域であり、潮干狩りや保養地等のレクリエーション利用及び、マリナーとしての利用に支障のない海岸を目指す。

改定内容
 ・調査結果の更新に伴う修正
 ・修文

重点区域	⑧大野・鬼崎地区：常滑市
対象区域	大野漁港～井口川河口付近
海岸管理者	常滑市、県（河川課）

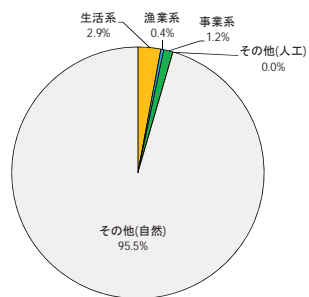


0m 1000m 2000m

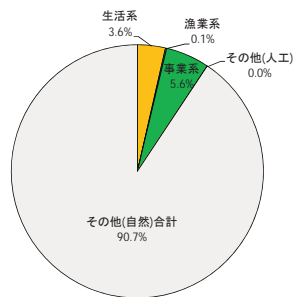
海岸保全区域（農水省所管） 県 市町村 港湾区域
 海岸保全区域（国土交通省 港湾局所管） 県 市町村 漁港区域



写真：大野海岸
 （常滑市観光協会ホームページ）



H26年 海岸漂着物種類別重量の割合
 （大野海岸）



H26年 海岸漂着物種類別重量の割合
 （鬼崎海岸）

改定内容
 ・重点区域の追加

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木 を除く	流木・灌木 を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	常滑海岸西之口蒲池地区	2	
	鬼崎漁港海岸	3	
②平成26年度アンケート調査 (県環境部)	大野海岸		6
③平成26年度海岸漂着物内容調査 (県環境部)	大野海岸	2	5
	鬼崎海岸	3	7
④平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	大野海岸	降雨前：2 降雨後：1	降雨前：6 降雨後：5
	鬼崎海岸	降雨前：T 降雨後：T	降雨前：4 降雨後：4
これまでの海岸漂着物状況	海岸清掃を行ったが、繰り返し漂着することで、現在も漂着ゴミが多い状態が続いている。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）
常滑市が補助金等を活用して実施	常滑市
住民ボランティア等民間団体による単独実施	アダプトプログラム登録団体
漁港工事請負業者によるイメージアップ活動	宇佐美工業、ショウワ建設、小島組、丸茂建設

○地域特性

自然的条件	ハマヒルガオなどの海浜植物が咲き、アカウミガメの産卵が確認されている自然豊かな海岸である。 また、海岸に沿って、常滑市指定天然記念物「榎戸の防風林」が存在する。
社会的条件	海水浴場、マリンスポーツ場、釣り場としてレクリエーション利用がされている。 また、漁港として利用されている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

重点区域	⑨りんくう地区：常滑市
対象区域	りんくうビーチ
海岸管理者	常滑市



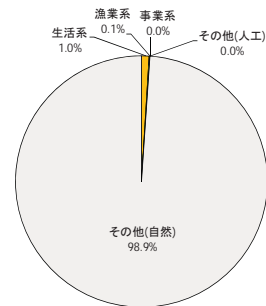
0m 1000m 2000m

重点区域

海岸保全区域 (国土交通省 河川局所管) 県 市町村 港湾区域
 海岸保全区域 (農水省所管) 県 市町村 漁港区域
 海岸保全区域 (国土交通省 港高局所管) 県 市町村 漁港区域



写真：アカウミガメ上陸の看板



H26年 海岸漂着物種類別重量の割合 (りんくう地区)

改定内容
 ・重点区域の追加

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木 を除く	流木・灌木 を含む
①平成26年度アンケート調査 (県環境部)	りんくうビーチ		6
②平成26年度海岸漂着物内容調査 (県環境部)	りんくう地区	T	4
③平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	りんくう地区	降雨前：T 降雨後：T	降雨前：3 降雨後：3
これまでの海岸漂着物状況	海岸清掃を行ったが、繰り返し漂着することで、現在も海岸漂着物が多い状態が続いている。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）
蒲郡市が補助金等を活用して実施	蒲郡市
常滑市と住民ボランティア等民間団体との共同実施	アダプトプログラム登録団体、市

○地域特性

自然的条件	アカウミガメの産卵が確認されている海岸である。
社会的条件	海水浴場や釣り場としてレクリエーション利用がされている。 また、中部国際空港の飛行機の発着を間近で見ることができる。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

重点区域	⑩常滑・小鈴谷地区：常滑市
対象区域	苅屋漁港～常滑市・美浜町境
海岸管理者	県（河川課）、常滑市



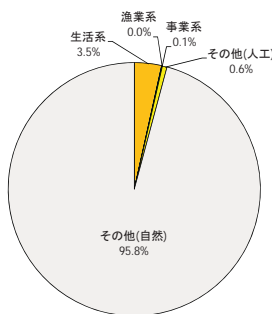
0m 1000m 2000m

県 市町村 港湾区域
 県 市町村 漁港区域

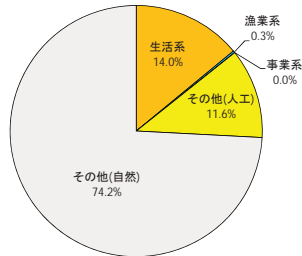
海岸保全区域（国土交通省 河川局所管）
 海岸保全区域（農水省所管）
 海岸保全区域（国土交通省 港湾局所管）



写真：潮干狩りの様子（坂井海岸）
 （常滑市観光協会ホームページより）



H26年 海岸漂着物種類別重量の割合
 （常滑地区）



H26年 海岸漂着物種類別重量の割合
 （小鈴谷地区）

改定内容
 ・重点区域の追加

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木 を除く	流木・灌木 を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	苧屋漁港海岸	5	
	常滑海岸大谷地区	0	
	常滑海岸坂井地区	4	
②平成26年度現地調査 (県環境部)	常滑地区	2	7
	小鈴谷地区	2	6
③平成26年度現地調査 (県環境部)	常滑地区	降雨前：T 降雨後：T	降雨前：2 降雨後：2
	小鈴谷地区	降雨前：1 降雨後：1	降雨前：4 降雨後：4
これまでの海岸漂着物状況	海岸清掃を行ったが、繰り返し漂着することで、現在も漂着ゴミが多い状態が続いている。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）
蒲郡市が補助金等を活用して実施	蒲郡市
住民ボランティア等民間団体による単独実施	アダプトプログラム登録団体

○地域特性

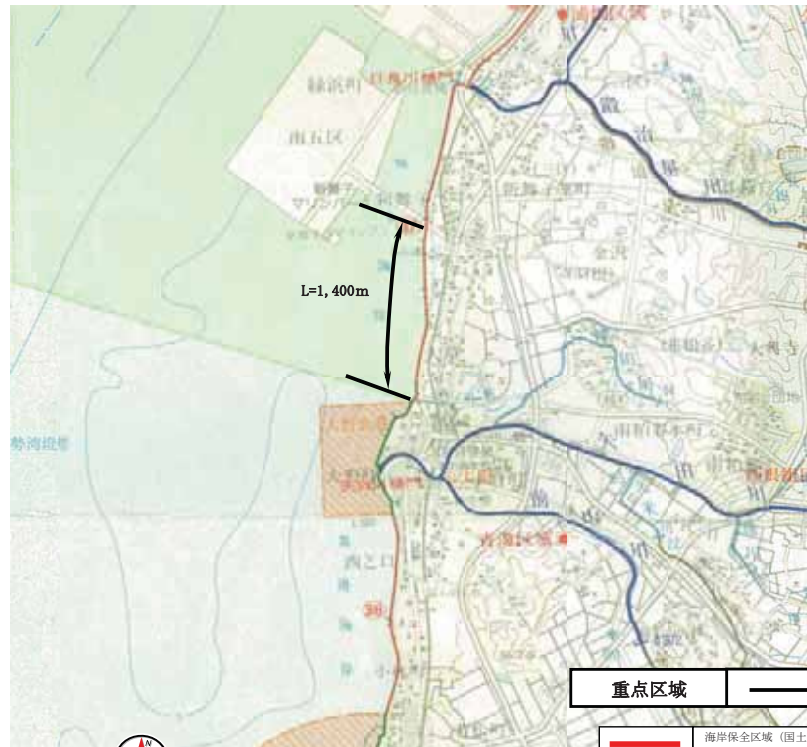
自然的条件	南知多県立自然公園に指定された地域である。 また、アカウミガメの産卵が確認されている海岸である。
社会的条件	海水浴場、潮干狩り場、釣り場などとしてレクリエーション利用がされている。 また、漁港として利用されている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

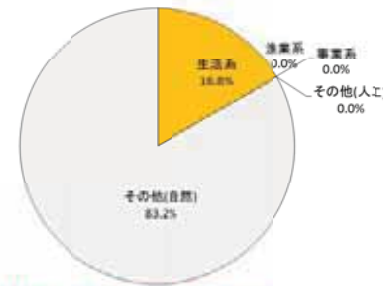
重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

改定内容
・重点区域の追加

重点区域	①新舞子地区：知多市
対象区域	新舞子ファインブリッジ～知多市・常滑市境
海岸管理者	県（河川課）



県	市町村	港湾区域	重点区域
県	市町村	漁港区域	海岸保全区域 (国土交通省 河川局所管)
			漁業保全区域 (農水省所管)
			海岸保全区域 (国土交通省 港湾局所管)



改定内容
 ・重点区域の追加

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	新舞子地区(1)	3	
	新舞子地区(2)	4	
②平成26年度海岸漂着物内容調査 (県環境部)	新舞子地区	2	4
これまでの海岸漂着物状況	海岸清掃を行ったが、繰り返し漂着することで、現在も漂着ゴミが多い状態が続いている。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)
知多市による単独実施	知多市
住民ボランティア等民間団体による単独実施	環境を良くする市民の会、ジャパンエナジー

○地域特性

自然的条件	南知多県立自然公園に指定された地域である。
社会的条件	潮干狩り場、マリンスポーツ場としてレクリエーション利用がされている。 また、花火大会が開催され、観光客が訪れている。

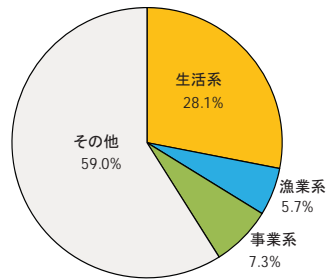
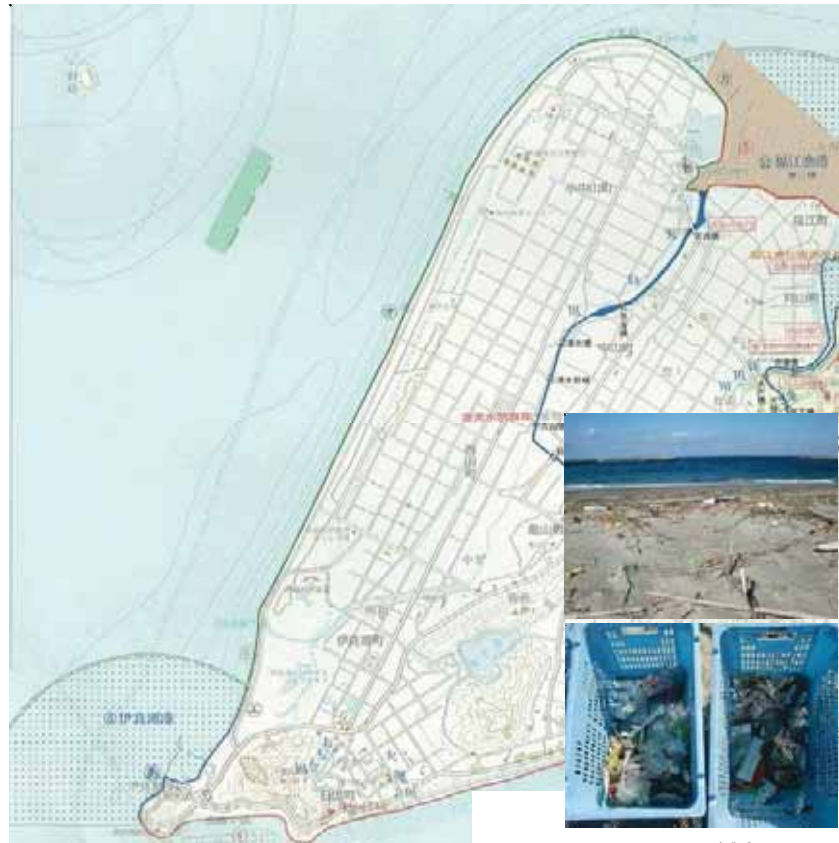
○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

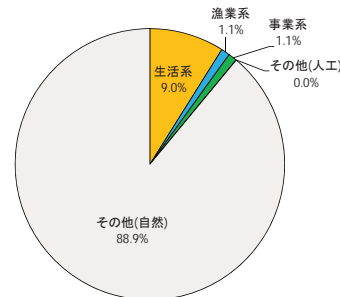
改定内容
・重点区域の追加

(新)

重点区域	⑫渥美地区：田原市
対象区域	福江漁港～伊良湖港海岸
海岸管理者	県（農地計画課、港湾課）



H22年 海岸漂着物種類別重量の割合 (伊良湖海岸)

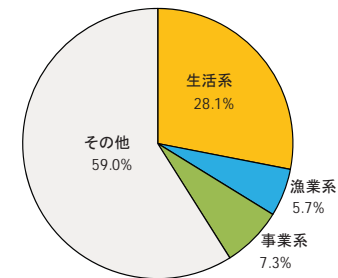
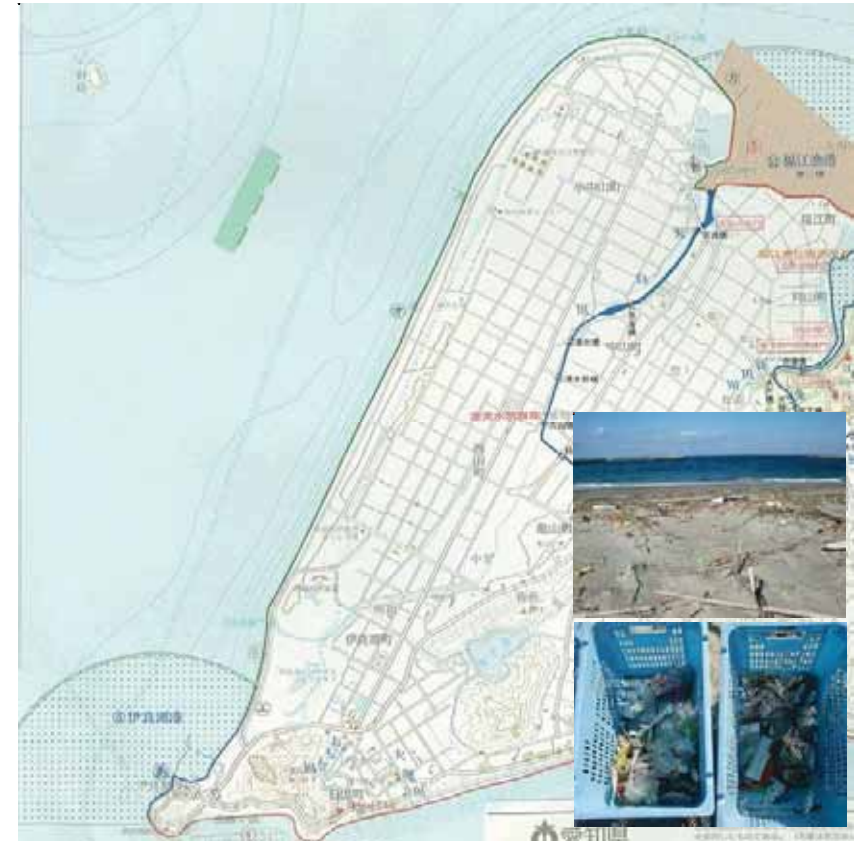


H26年 海岸漂着物種類別重量の割合 (福江港海岸立馬崎地区海岸)

改定内容
 ・重点区域の延長に伴う修正
 ・修文

(旧)

重点区域候補	⑫渥美地区：田原市
対象海岸	渥美海岸伊良湖地区海岸 伊良湖港海岸伊良湖地区海岸
対象区域	福江漁港西端～伊良湖港海岸
海岸管理者	県（農地計画課、港湾課）



H22年 漂着物種類別重量の割合 (伊良湖海岸)

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	渥美海岸伊良湖地区	5	
②平成22年度現地調査 (県環境部)	渥美海岸伊良湖地区	2	3
③平成26年度海岸漂着物内容調査 (県環境部)	福江港海岸立馬崎地区海岸	1	5
④平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	渥美地区全域	降雨前：1 降雨後：1	降雨前：5 降雨後：5
これまでの海岸漂着物状況	大雨時に流木・灌木等が漂着する。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)
田原市が補助金等を活用して実施	田原市
住民ボランティア等民間団体による単独実施	渥美半島の里海を美しくする会
	亀の子隊

○地域特性

自然的条件	伊良湖岬等の自然の景勝地が多く、三河湾国立公園及び県指定鳥獣保護区に指定された地域である。
社会的条件	海水浴場、釣り場としてレクリエーション利用がされている。 また、伊良湖港は、三重県とのターミナル港となっており、海上交通の要所となっている。 なお、漁港としても利用されている

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

地域概要

○漂着ごみの集積状況

調査名	地点名	ごみランク	
①平成18年度調査 (国土交通省) 「H18調査」	渥美海岸伊良湖地区	5	
②平成21年度アンケート調査 (県環境部) 「H21調査」	—	—	
③平成22年度現地調査 (県環境部) 「H22調査」	渥美海岸伊良湖地区	2	3
これまでの漂着ごみ状況	大雨時に灌木等が漂着する。		

平成22年度調査結果：流木・灌木以外のごみランク(左側)と流木灌木を含んだごみランク(右側)も併記した。

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者(実施者)	実施時期
住民ボランティア等民間団体による単独実施	亀の子隊	月に1度
国の機関による単独実施	海上保安庁	2007年
	海上保安庁第4管区(蒲郡)	2008年

○地域特性

自然的条件	伊良湖岬等の自然の景勝地が多く、三河湾国立公園に含まれる地域である。また、県指定鳥獣保護区に指定されている。
社会的条件	夏季には、伊良湖海岸等が海水浴場としてレクリエーション利用がされている。伊良湖港は、三重県等のターミナル港となっており、海上交通の要所となっている。また、漁業も行われている。

○重点区域の漂着物対策推進の目標

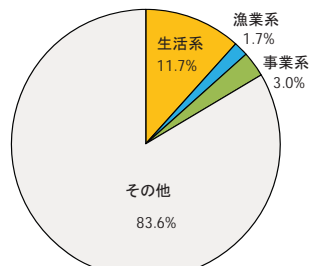
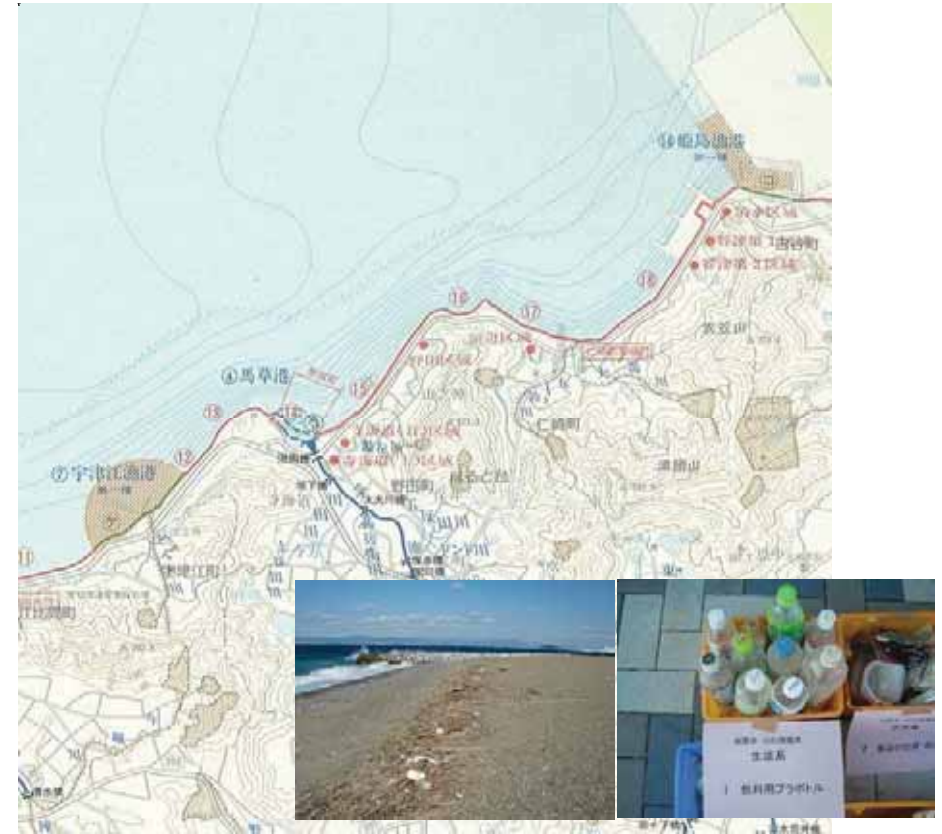
重点区域の漂着物対策推進の目標
渥美半島の先端部に位置し、国立公園指定地域であり、海水浴を始めとするレクリエーション利用に支障のない海岸を目指す。

(新)

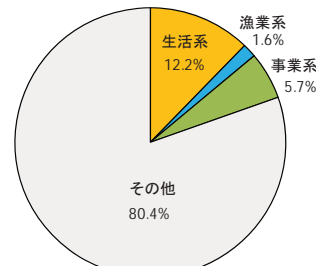
(旧)

重点区域	⑬仁崎・白谷地区：田原市
対象区域	白谷海水浴場北端～仁崎海水浴場南端
海岸管理者	県（河川課）

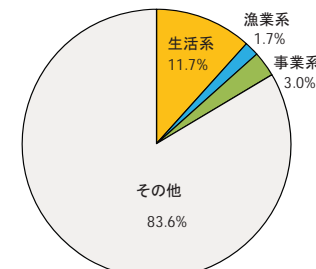
重点区域候補	⑨仁崎・白谷地区：田原市
対象海岸	田原海岸仁崎・白谷地区海岸、田原海岸仁崎地区海岸 田原海岸野田・仁崎地区海岸
対象区域	田原市白谷海水浴場北端～田原市仁崎海水浴場南端
海岸管理者	県（河川課）



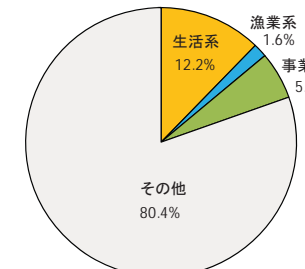
H22年 海岸漂着物種類別重量の割合 (仁崎海岸)



H22年 海岸漂着物種類別重量の割合 (白谷海岸)



H22年 漂着物種類別重量の割合 (仁崎海岸)



H22年 漂着物種類別重量の割合 (白谷海岸)

改定内容
・修文

(新)

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	田原海岸仁崎・白谷地区	6	/
②平成21年度アンケート調査 (県環境部)	白谷海岸		
③平成22年度現地調査 (県環境部)	仁崎海岸	3	6
	白谷海岸	3	6
④平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	仁崎・白谷地区全域	降雨前：T 降雨後：T	降雨前：2 降雨後：2
これまでの海岸漂着物状況	大雨時に流木・灌木を中心に漂着し、夏季に海岸漂着物が多く発生		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）
田原市が補助金等を活用して実施	田原市
住民ボランティア等民間団体による単独実施	渥美半島の里海を美しくする会
	汐川を美しくする会、愛知海運産業株式会社

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園及び渥美半島県立自然公園に指定された地域である。
社会的条件	海水浴場としてレクリエーション利用がされている。 仁崎海岸にはキャンプ場が、白谷海岸には陸上競技場など運動施設が併設されており、利用が盛んである。 また、毎年8月に白谷海水浴場で開催される龍宮まつりには、多くの観光客が訪れている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

(旧)

地域概要

○漂着ごみの集積状況

調査名	地点名	ごみランク	
①平成18年度調査 (国土交通省) 「H18調査」	田原海岸仁崎・白谷地区	6	
②平成21年度アンケート調査 (県環境部) 「H21調査」	白谷海岸	8	
③平成22年度現地調査 (県環境部) 「H22調査」	仁崎海岸	3	6
	白谷海岸	3	6
これまでの漂着ごみ状況	大雨時に流木を中心に漂着し、夏季に漂着ごみが多く発生		

平成22年度調査結果：流木・灌木以外のごみランク(左側)と流木灌木を含んだごみランク(右側)も併記した。

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）	実施時期
住民ボランティア等民間団体による単独実施	汐川を美しくする会、 愛知海運産業株式会社	H21.11.15

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園に含まれる地域である。
社会的条件	夏季には仁崎・白谷海岸ともに、海水浴場としてレクリエーション利用がされている。仁崎海岸にはキャンプ場が、白谷海岸には陸上競技場など運動施設が併設されており、利用が盛んである。また、毎年8月に白谷海水浴場で開催される龍宮まつりに多くの観光客が訪れている。

○重点区域の漂着物対策推進の目標

重点区域の漂着物対策推進の目標
渥美半島の三河湾内側に位置する本地域は、国立公園指定地域であり、海水浴などのレクリエーション利用に支障のない海岸を目指す。

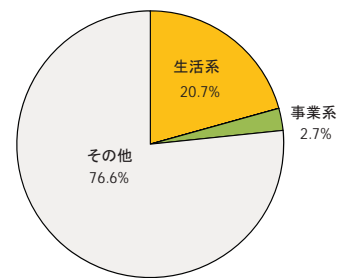
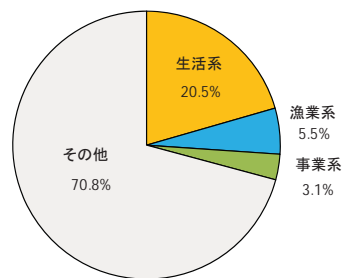
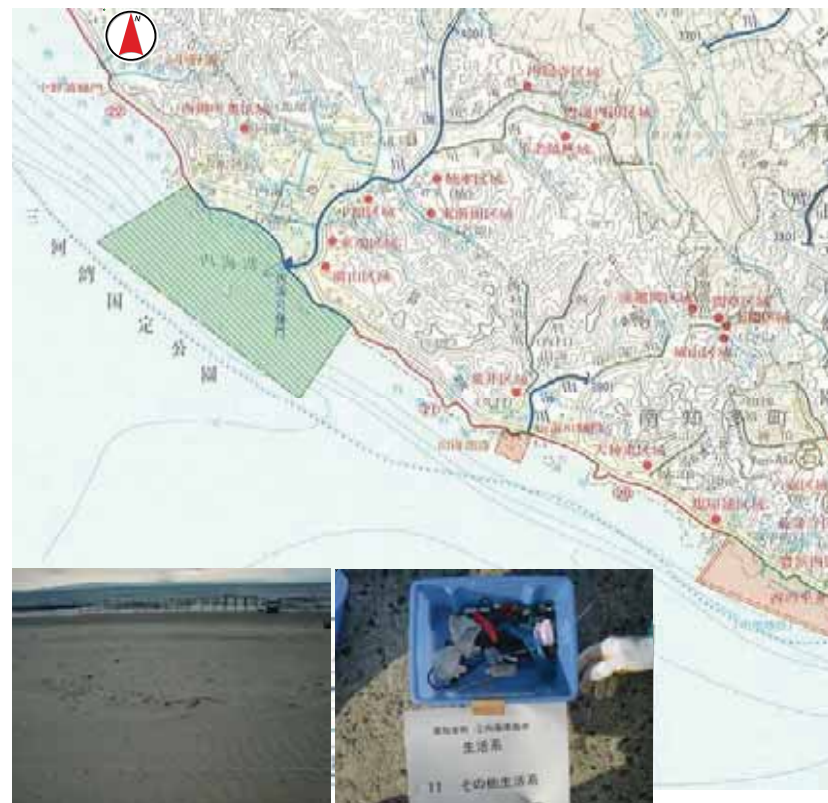
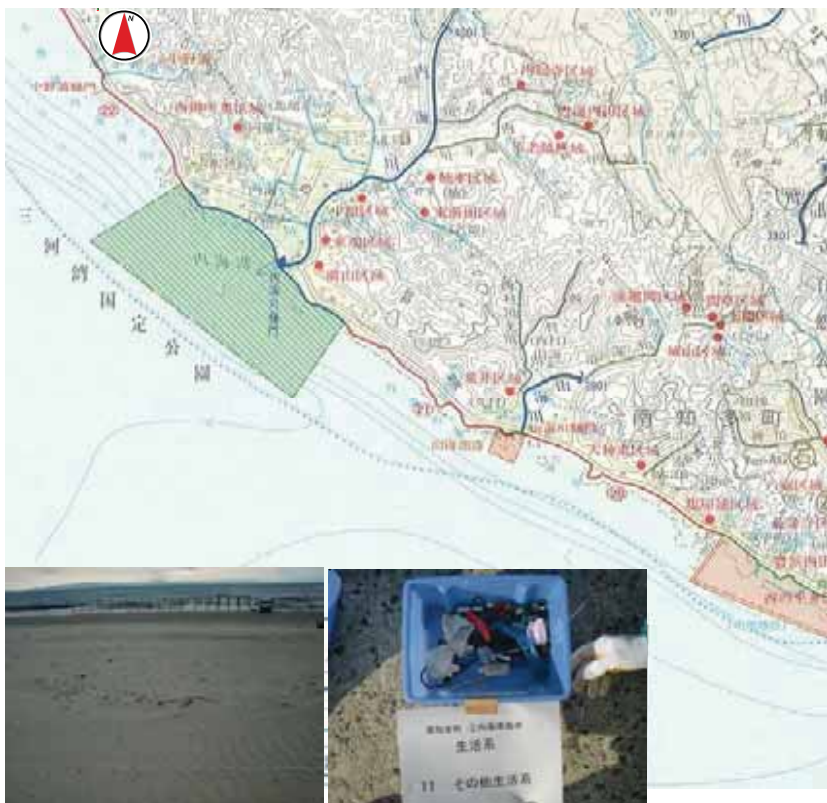
改定内容
 ・調査結果の更新に伴う修正
 ・修文

(新)

(旧)

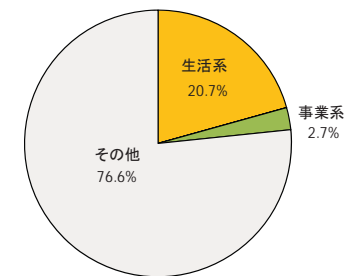
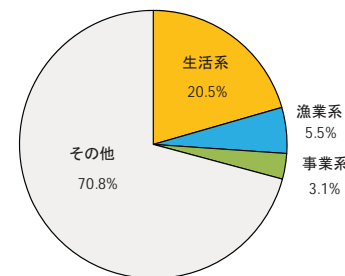
重点区域	⑭内海・山海地区：南知多町
対象区域	内海港北側～豊浜漁港北側
海岸管理者	県（河川課）、南知多町

重点区域候補	②内海・山海地区：南知多町
対象海岸	内海港海岸東浜千鳥ヶ浜海岸 南知多海岸内海・山海地区海岸 南知多海岸山海・豊浜地区海岸
対象区域	南知多町 内海港北側～豊浜漁港北側
海岸管理者	県（河川課）、南知多町



H22年 海岸漂着物種類別重量の割合 (内海港海岸)

H22年 海岸漂着物種類別重量の割合 (山海海岸)



H22年 漂着物種類別重量の割合 (内海港海岸)

H22年 漂着物種類別重量の割合 (山海海岸)

改定内容
・修文

地域概要

○海岸漂着物の集積状況

調査名	地点名	ごみ量ランク*	
		流木・灌木を除く	流木・灌木を含む
①H18一体的漂着ゴミ対策調査 (国土交通省)	南知多海岸山海豊浜地区	2	
②平成18年度アンケート調査 (県環境部)	内海港海岸		8
	山海海岸		8
③平成22年度現地調査 (県環境部)	内海港海岸	1	3
	山海海岸	1	3
④平成26年度アンケート調査 (県環境部)	内海港海岸		8
	山海海岸		8
⑤平成26年度海岸漂着物量調査 (県環境部)	内海・山海地区全域	降雨前：1 降雨後：T	降雨前：4 降雨後：4
これまでの海岸漂着物状況	大雨時に流木・灌木を中心に漂着し、夏季及び冬季に海岸漂着物の発生がみられる。		

※ 表2-1参照

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）
南知多町による単独実施	南知多町
南知多町が補助金を活動して実施	南知多町
南知多町と住民ボランティア等民間団体による共同実施	南知多町、各地域の自治区、老人会、内海小・中学校、豊浜漁業協同組合
住民ボランティア等民間団体による単独実施	各地域の自治区、老人会、内海小・中学校、豊浜漁業協同組合

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園及び南知多県立自然公園に指定された地域である。 また、海水浴場として有名な内海海岸の「千鳥が浜」は日本の渚百選にも選ばれている。 また、アカウミガメの産卵が確認されている海岸である。
社会的条件	海水浴場としてレクリエーション利用がされている。 近郊には温泉地があり、また、8月には内海海水浴場で花火大会が開催され、多くの観光客が訪れている。 なお、漁港として利用されている。

○重点区域の海岸漂着物対策推進の目標

重点区域の海岸漂着物対策推進の目標
上記の自然的条件を有する本地域の海岸環境の保全を図るとともに、上記の社会的条件に記載した利用支障のない海岸を目指す。

改定内容

- ・調査結果の更新に伴う修正
- ・修文

地域概要

○漂着ごみの集積状況

調査名	地点名	ごみランク	
①平成18年度調査 (国土交通省) 「H18調査」	山海豊浜地区	2	
②平成21年度アンケート調査 (県環境部) 「H21調査」	内海港海岸	8	
	山海海岸	8	
③平成22年度現地調査 (県環境部) 「H22調査」	内海港海岸	1	3
	山海海岸	1	3
これまでの漂着ごみ状況	大雨時に流木を中心に漂着し、夏季及び冬季に漂着ごみの発生		

平成22年度調査結果：流木・灌木以外のごみランク(左側)と流木灌木を含んだごみランク(右側)も併記した。

○海岸清掃活動等の実績

実施形態	参加者（実施者）	実施時期
住民ボランティア等民間団体による単独実施	天理教災害救援ひのきしん隊	H19.5.28
	内海地区	H19.6.10、8.26、10.22、H20.8.31、H21.8.30
	南知多観光協会内海支部	H19.7.7～8.31、H20.7.4～9.1、H21.5.7、6.29～9.1
	内海高等学校	H19.7.6、H21.7.3
	内海小学校	H20.6.3、H21.6.23
	内海漁業協同組合	H20、21年度中
	株式会社ライフサポート	H20.12.19、H21.11.10
	内海地区	H19.6.10、H20.8.31、H21.8.30
	山海小学校	H19.7.9、H20.5.21、7.7
	松原老人クラブ松栄会	H19.9.20
南知多観光協会山海支部	H20.6..2-8.31	

○地域特性

自然的条件	三河湾国立公園に含まれ、自然環境に恵まれている。海水浴場として有名な内海海岸もきれいな砂浜としての「千鳥が浜」が日本の渚百選にも選ばれている。 また、アカウミガメの産卵地として重要である。
社会的条件	名古屋圏域から近く夏季には内海・山海海水浴場としてレクリエーション利用がされている。また、近郊には温泉地もあり、観光地区となっている。8月には内海海水浴場で大きな花火大会が開催され、多くの観光客が訪れている。漁業も盛んな地域である。

○重点区域の漂着物対策推進の目標

重点区域の漂着物対策推進の目標
知多半島の南西部に位置する本地域は、国立公園指定地域であり、海水浴や保養地等のレクリエーション利用及び、アカウミガメなど貴重な生物にとって支障のない海岸を目指す。